

令和5年度（2023年度） 事業実績報告書

1. 申請者の概要

申請者	団体名	富田林商工会	
	代表者職・氏名	会長 村元 保男	
	所在地	富田林市粟ヶ池町2969番地の5	
	担当者	職・氏名	事務局長 寺内 一裕
		連絡先	T E L（直通）： 0721-25-1101
F a x： 0721-25-9009			
E - m a i l： info@tonsow.or.jp			
①設立年月日	昭和37年7月22日		
②職員数 （うち経営指導員数）	9名（経営指導員9名）（令和6年3月31日現在）		
③所管地域	富田林市・河南町・太子町・千早赤阪村		
④管内事業所数	4,427（令和3年度経済センサス）		
⑤管内小規模事業者数	3,012（令和3年度経済センサス）		
⑥会員数（組織率）	1,882（令和6年3月31日現在）		
	※②、④、⑤、⑥については直近の数字を記載すること		
<input type="checkbox"/> 主な事業概要（定款記載事項等）			
<p>(1) 商工業に関し相談に応じ、又は指導を行うこと。 (2) 商工業に関する情報又は資料を収集し及び提供すること。 (3) 商工業に関する調査研究を行うこと。 (4) 商工業に関する講習会又は講演会を開催すること。 (5) 展示会・共進会等を開催し、又はこれらの開催の斡旋を行うこと。 (6) 商工業に関する施設を設置し維持し、又は運用すること。 (7) 商工会としての意見を公表し、これを国会、行政庁等に具申し、又は建議すること。 (8) 行政庁等の諮問に応じて答申すること。 (9) 社会一般の福祉の増進に資する事業を行うこと。 (10) 商工業者の委託を受けて当該商工業者が行うべき事務（その従業員のための事務を含む。）を処理すること。 (11) 大阪府商工会連合会の委託を受けて商工貯蓄共済事業の業務を行うこと。 (12) 商工業者の福利厚生に資する事業を行うこと。 (13) 行政庁から委託を受けた事務を行うこと。 (14) 輸出品の原産地証明を行うこと。 (15) 国際親善の増進を図ること。 (16) 職業紹介事業を行うこと。 (17) 前各号に掲げるもののほか、その他商工会の目的を達成するために必要な事業を行うこと。</p>			

<p>(1) 事業の目標</p> <p>令和5年度においては、多様な環境の変化に伴う原材料・原油価格の高騰など、経済は停滞感から抜け出せず小規模事業者を取り巻く環境は厳しく、先行きが不透明である。また、人口減少による労働力不足や高齢化による後継者不足など地域の事業者にとっては厳しい環境が続いている。それらの状況を踏まえ、地域の事業者のニーズに沿った各種支援をリアルタイムで提供できる体制を整えるとともに、経営相談窓口を設置するなど課題解決に向けたサービスの提供を行うことを目標とした。また、当会経営指導員と専門家と連携を図りながら伴走型支援を実施することで、専門的かつ高度な支援を行うことができ、さらに、関係支援機関、各種専門家と連携を強化し、事業者のニーズに対応した各種事業を実施する。</p>
<p>(2) 事業を実施した具体的な内容、方法及び工夫した点</p> <p>【経営相談事業】 脱コロナ、持続的発展につなげるため、金融支援を重点的に実施し、経営の安定化を図ることができた。また、インボイス導入に向け、小規模事業者等の負担軽減につながるような記帳支援を重点的に実施し、環境整備に努めることができた。</p> <p>【専門相談事業】 高度な内容の経営課題においては、専門的視点からの支援を要するため、専門家を窓口とした支援を実施した。</p> <p>【地域活性化事業】</p> <p>①小規模事業者の持続的発展の推進 地域産業を持続的発展させるため、「創業促進事業」を実施することで、地域産業の底上げを図った。また、「脱炭素推進事業」を実施し、持続可能な経済社会の実現の促進につなげた。</p> <p>②小規模事業者の新たな魅力の発見・創出、競争力の強化 新たな魅力の発見、創出など事業者のポテンシャルの再発見につながる「とんだばやしバル事業」、「製品・商品・サービス魅力強化発信事業」を実施、また、それらのもつ情報を効果的に発信、プロモーションできるようIT化の促進として「ITツール活用支援事業」を実施することで魅力向上に努めた。</p> <p>③新たな労働力の確保、職場環境整備を支援し、雇用の創出を図った。 労働力不足を補うため、「雇用管理労務対策セミナー」などを実施、また、「求人、求職マッチング事業」の開催など働きやすい環境整備を推進することで、新たな雇用の創出につなげた。</p> <p>④地域資源を活用した特産品の開発等、インバウンド事業を引き出す観光開発支援 関西大阪万博に向け、地域資源の掘り起し、活用など観光資源を有効活用できるよう「地域ブランド開拓、情報発信事業」を実施、インバウンド需要に向けた商品開発、プロモーションを支援することで新たな販路の開拓につなげた。</p>
<p>(3) 事業を実施した効果、所管地域の活性化の状況</p> <p>【経営相談事業】 小規模事業者が抱える様々な課題を窓口、巡回指導を通じて実態を把握し、課題解決に向けた支援を行った。事業者ニーズに迅速に対応するための経営相談窓口を設置したことで、事業者の課題解決に向けた支援をリアルタイムで実施することにより、伴走型支援を実施することができた。また、大阪府よろず支援拠点等と連携し、専門的分野についても効果的な支援ができたと思われる。脱コロナに向けて、事業者が必要としている様々なニーズに迅速かつ確に対応することで、地域での商工会の役割を果たすことができたと考える。</p> <p>【専門相談事業】 高度な内容の経営課題において専門的知識を有する専門家等が支援することで、迅速な課題解決につながった。</p> <p>【地域活性化事業】 創業の促進、新たな労働力の確保、非対面型ビジネスモデルの推進につながるITツールの活用、BCPの普及啓発など小規模事業者のニーズを把握し、事業を実施したことで地域経済の活性化、経営力の向上につなげることができた。 今後も継続して地域経済の活性化につながるような事業を実施していきたいと考える。</p>
<p>(4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題</p> <p>新型コロナウイルス感染症後の影響、原材料、原油価格の高騰など経済の目まぐるしい変化に対応しながら経営の持続的発展につながるような支援体制の構築、また、多様化する事業者のニーズを的確に把握し、効果的な支援に結びつけることができるような取組の推進、経営指導員の資質向上などに取り組んでいく必要がある。</p>
<p>(5) 次年度の取り組み</p> <p>次年度も今年度と同様に脱コロナに向けてマル経融資を基本とした金融支援を個社支援の重点項目に置き、引き続きアフターコロナ後の経営基盤の整備につながる支援を行っていきたい。また、原材料、原油価格の高騰など外的要因によるひっ迫した経営状況の改善など経営の再構築につながる支援を実施していきたいと考える。また、事業者ニーズも多様化しており、専門的支援が求められるケースも増加していることから、関係支援機関、専門家団体とより連携を図りながら個社支援を充実させていく。今年度も経営指導員の資質の向上がより求められることから、OJT制度を導入し、経営指導に必要なスキルを習得できる仕組みづくりを行い、若手経営指導員の資質の向上を図る。</p>

3. 経営相談支援事業・専門相談支援事業 富田林商工会

I 経営相談支援事業						
支援のポイント・成果						
<p>令和5年度は新型コロナウイルス感染症の位置づけが「2類相当」から、令和5年5月8日より「5類感染症」へ移行され「ウイズコロナ」から「アフターコロナ」に転換した年であり、実質GDPの内訳では個人消費は経済社会活動の正常化が進み、旅行・外食などサービス消費についての数値に回復が見られた。また、企業の設備投資についても同様に改善が見られるなど、消費の持ち直しの基調が進む中、中小企業、小規模事業者においても販路拡大や新規受注対応にかかる仕入や外注資金の調達に向けた金融支援を行い、経営向上を資金面で支援した事が全体的な数値向上に繋がる支援であったと言える。</p> <p>一方、10月より適格請求書等保存方式（インボイス制度）が導入され、それまで免税事業者であっても消費税に対応する知識が必要になり、対応する記帳支援やIT支援など事務環境整備に繋がる支援を積極的に対応し、経営数値の適格化や納税の適正化についての支援を行ったが、それ以外に個人事業所を中心にこの機会に経営状態の把握が出来るよう各経費における売上比率の算定方法など財務分析支援を重点的に行い、本格的な負担増となる令和6年を前に対策環境整備を支援し、改善の基礎基盤が整備され経営安定に繋がる支援を実施した。</p>						
支援メニュー	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価	
事業所カルテ・サービス提案	事業所	358	358	100.0%	5	
支援機関等へのつなぎ	支援数	0	0		-	
金融支援（紹介型）	支援数	1	1	100.0%	5	
金融支援（経営指導型）	支援数	130	130	100.0%	5	
マル経融資等の返済条件緩和支援	事業所	0	0		-	
資金繰り計画作成支援	事業所	0	0		-	
記帳支援	事業所	44	44	100.0%	5	
労務支援	支援数	69	69	100.0%	5	
人材育成計画作成支援	事業所	2	2	100.0%	5	
マーケティング力向上支援	事業所	0	0		-	
販路開拓支援	支援数	12	12	100.0%	5	
事業計画作成支援	支援数	6	6	100.0%	5	
創業支援	事業所	0	0		-	
事業継続計画（BCP）作成支援	事業所	10	10	100.0%	5	
コスト削減計画作成支援	事業所	9	9	100.0%	5	
財務分析支援	事業所	73	73	100.0%	5	
5S支援	事業所	4	4	100.0%	5	
IT化支援	事業所	61	61	100.0%	5	
債権保全計画作成支援	事業所	0	0		-	
事業承継支援	事業所	1	1	100.0%	5	
災害時対応支援	事業所	0	0		-	
フォローアップ支援	事業所	0	0		-	
結果報告	事業所	358	358	100.0%	5	
II 専門相談支援事業						
支援のポイント・成果						
<p>専門相談においては、個別で相談が多いインボイス導入に伴う税務相談、契約トラブルの増加に向けた法務相談を各10回ずつ予定していたが、経済社会活動の正常化が進む中、収益規模が拡大した事で法人化の是非についての相談が増加し、税務面よりも法人化構築の内容を中心に実戦経験の高い司法書士に「その他相談」として12事業所30件に対応した。</p>						
事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
法務相談	継続	支援日数	10	0	0.0%	0
税務相談	継続	支援日数	10	0	0.0%	0
金融相談	継続	支援日数	0	0		0
労務相談	継続	支援日数	0	0		0
その他相談	継続	支援日数	10	30	300.0%	5

Ⅲ 地域活性化事業										
支援のポイント・成果										
<p>事業者の脱コロナ後の持続的発展に向け、地域での活性化を図りながら事業を計画、実施した。今回、新たな取り組みとして人材確保を目的に新規採用者の職場定着支援事業を実施、労働力の拡充を図ることができた。その他の事業については、非対面型ビジネスモデルの促進として、SNSなどを活用したITツール活用支援事業、地域事業者の販路の拡大、新規顧客の開拓等を拡充するため、富田林バル事業、地域ブランド開拓、情報発信事業などを実施、経営基盤の再構築につなげることができた。さらに、新たな事業者の育成、創出を目的に創業者支援事業を実施したことで、減少傾向にある事業者の増加を図ることができた。</p> <p>地域活性化事業を実施したことで、新たな労働力、人材の確保、販路の拡充、情報発信力の強化など地域事業者のニーズに沿った事業を実施することにより、一定の効果はあったと感じられる。また、地域活性化事業（単独事業及び各地域と連携した広域事業）を実施したことにより、事業者の知識向上、広域での販路の拡大、新規顧客の獲得など地域小規模事業者（支援事業所）の成長改善等に貢献することができた。</p>										
(1) 単独事業										
府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足率	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
	地域ブランド開拓、情報発信事業	61	62	101.6%	100%	農商工事業者の自社製品（商品）の販路拡大。新規顧客の開拓。	70%	95%	135.7%	5
	とんだばやしバル事業	60	51	85.0%	88.2%	事業を実施したことにより販路の拡大、新規顧客の獲得につながったと回答した割合	70%	94.10%	134.4%	5
○	雇用管理労務対策セミナー	30	25	83.3%	96%	雇用管理について理解を深めることができた企業割合	70%	96%	137.1%	5
○	BCP普及啓発事業	22	16	72.7%	100%	簡易版BCP作成シート作成企業数	22	16	72.7%	4
○	カーボンニュートラル、脱炭素推進事業	20	20	100.0%	94.7%	脱炭素に関する知識が向上し、今後、事業活動の中で推進していこうと考えている企業割合	70%	95%	135.7%	5
○	新規採用者の職場定着支援事業	15	10	66.7%	90%	セミナーを受講することにより人材確保に関する知識が向上した事業所	70%	100.00%	142.9%	5
(2) 広域事業（幹事事業のみ）										
府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足率	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
	ITツール活用支援事業	105	108	102.9%	94.4%	ITツール活用知識の向上や販路拡大することによる売上増加企業割合	70%	94.40%	134.9%	5
○	製品・商品・サービス魅力強化発信事業	25	20	78.0%	100%	自社での取り組みを推進していこうと考えている企業割合	80%	100%	125.0%	5
○	創業促進事業	96	93	96.9%	97.8%	創業意識が向上した割合（アンケート）	70%	92.50%	132.1%	5

※府施策連携事業は、「府施策連携」欄に○をつけてください。各欄の記載は、個別調書の記載と合わせてください。

富田林商工会

事業名		地域ブランド開拓、情報発信事業							
想定する実施期間		H22 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	商工会管内小規模事業所において、商品力はあるが販売ルートが確立されていなかったり、事業展開が思うように進んでいない商品（製品）が多々ある。そのような商品（製品）をブランド商品として認定、PRすることにより販路の拡大や新規顧客の開拓等新たな事業展開を支援する。また、特産品をブランド化し情報発信することにより、地域の観光事業の活性化が図れ、地域振興や商工業発展に貢献することができる。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	商工会管内の小売、サービス、製造、農林業等含めた全事業者							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>○市広報やHP等でブランド認定事業者を募集し、年1回富田林ブランド認定審査会を実施、認定商品を選定する。（今年度は新たに6事業所7商品を選定した。）認定商品に選ばれたブランド商品については事業者へ認定証、ブランド認定ロゴシールを発行する。また、大阪府内外でのイベント等PR可能な場所へはブランド認定委員会として出店しブランド商品の積極的な告知活動を実施した。また、認定委員会HPから各認定事業者HPへ誘導し、消費者が直接購入できるような仕組みを作り、市町村と広域連携しながら南河内ブランド商品のPRを実施することができた。</p> <p>○太子町、河南町、千早赤阪村の特産品を南河内ブランド商品として地元の季節ごとのイベントでのPR販売を実施した。</p> <p>○地域で展示即売会を実施し、ブランド商品及び地域特産品のPR販売を実施し、地域で作られたものであるということを消費者に知ってもらう機会を提供した。</p> <p>○事業全体に係るPRについては、今年度もHPを活用した販促活動を一部実施した。さらに新規顧客の獲得につながるような販売促進活動を強化した。</p> <p>○地域で数回展示販売会を実施し、ブランド商品及び地域特産品のPR活動を実施した。</p>							
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携							
		②広域連携							
③市町村連携	富田林市ブランド認定委員会へのオブザーバーとしての参画。また、ブランド認定事業者募集記事の市広報への掲載。市町村と連携することで事業効果を高めることができた。								
④相談相乗									
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	61.0	総支援企業数(実績)	62.0	支援実績率	101.6%	満足率	100.0%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>①新たに6社（7商品）を認定した。認定商品も32社36商品になり認知度向上につなげることができた。</p> <p>②新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、イベントが積極的に実施され、地域内外のイベントに参加することで販売促進活動を実施することができた。</p> <p>③富田林市観光協会等と連携し、地域のイベントに合わせて富田林ブランド商品の展示会等を実施し、広く消費者にアピールすることができた。</p> <p>④販売促進につながるようパンフレットを作成し、消費者へのアピールに努めた。</p> <p>⑤富田林市と連携し、6次産業のブランド登録促進に努めた。</p>							
		代表指標	農商工事業者の自社製品（商品）の販路拡大。新規顧客の開拓。						
		数値目標	70%	実績数値	98.4%	目標達成度	140.6%		
	成果の代表事例	富田林市と連携し、6次産業商品のブランド認定を促進することで、新たな事業者の掘り起こしにつなげることができた。							
	その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度			

実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	本年度は新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、多くのイベントが開催され、積極的にイベントに参加することで販売促進活動を実施することができた。次年度は更に積極的に販売促進活動を推進するとともにSNSやHPのリニューアル等も視野に入れて、情報発信の強化を図りながら、事業者の新たな販路の拡大につなげていきたいと考える。また、大阪万博への連携を推進する事業展開を実施していきたい。
------	--	---

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績/達成度をご記入ください。

実績/達成度①	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	3.0	支援企業数(実績)	6.0	支援実績率	200.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	地元根付いた事業者であり、地域の特産品であることをPRするとともに、自社のPRができ、来店者の増加、売上の増加につながった。							
		指標	自社製品の販路の拡大ができたと回答した割合						
	数値目標	70%	実績数値	100%	目標達成度	142.9%			
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実績/達成度②	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	27.0	支援企業数(実績)	27.0	支援実績率	100.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	地元根付いた事業者であり、地域の特産品であることをPRするとともに、自社のPRができ、来店者の増加、売上の増加につながった。							
		指標	自社製品の販路の拡大ができたと回答した割合						
	数値目標	70%	実績数値	93%	目標達成度	132.1%			
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実績/達成度③	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	14.0	支援企業数(実績)	14.0	支援実績率	100.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	地元根付いた事業者であり、地域の特産品であることをPRするとともに、自社のPRができ、来店者の増加、売上の増加につながった。							
		指標	自社製品の販路の拡大ができたと回答した割合						
	数値目標	70%	実績数値	100%	目標達成度	142.9%			
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実績/達成度④	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	17.0	支援企業数(実績)	15.0	支援実績率	88.2%	満足率	100.0%
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	地元根付いた事業者であり、地域の特産品であることをPRするとともに、自社のPRができ、来店者の増加、売上の増加につながった。							
		指標	自社製品の販路の拡大ができたと回答した割合						
	数値目標	70%	実績数値	100%	目標達成度	142.9%			
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				

富田林商工会

事業名		とんだばやしバル事業							
想定する実施期間		H30 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	富田林市の多くは、人口減少問題や経済活動の縮小など地域の課題と呼ばれるものが多く存在し、地域社会、地域のコミュニティの維持すら困難な状況である。また、地域の商店会も同様に市場の縮小、後継者不足など様々な課題を抱えており、商店会として機能的に活動しているとはいいがたい。そこで、地域内を消費者が循環する仕組みを作り、販売促進活動を効果的に行う事業を実施することで新規顧客の開拓、販路の拡大を目指す。また、事業者間でのネットワークづくりにもつなげることができ、地域力強化を図る。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	富田林市内の小規模事業者を対象とする。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	開催日：(とんバル期間) 令和5年10月28日(土) から11月5日(日) の9日間開催 開催場所：富田林市内全域 開催内容：「とんバル」チケットを販売し、参加者は参加店舗が掲載されているバルマップを見ながらまち歩き、買い物、食べ歩き、飲み歩きなど富田林市内を散策してもらう。 参加店舗：市内の飲食、小売、サービス業等 ※実行員会形式を取り、その中で富田林商工会は事業の企画立案、事業者の募集、マップ等の印刷物の製作、販促活動の支援等を実施する役目を担う。 参加企業数：51社 <事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携							
		②広域連携							
	③市町村連携	富田林市において、事業に関しての広報等を依頼。広くPRすることで、事業効果を高めることができた。							
	④相談事業相乗	カルテ化事業者の地域活性化事業への参加促進や地域活性化事業参加事業者をカルテ化することによる効率的な支援を行った。							
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	60.0	総支援企業数(実績)	51.0	支援実績率	85.0%	満足率	88.2%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	今年度は新型コロナウイルス感染症が5類に移行したため、感染症対策も以前ほど厳しくない形の対策で事業を実施した。継続して事業を実施しているため、地域消費者への認知度は上がってきており、参加事業者も工夫してバル用メニューの提供するなどより良いサービスの提供での参加につながった。計画事業数には届かなかったが、以前から参加している事業者に加えて新たに創業した事業者の参加もあり、さらに富田林市と事業協力してPRに努めたことにより、事業効果が高まり、事業に対する知名度が上がったことで売上の増加、新規顧客の獲得につながることができた。							
		代表指標	事業を実施したことにより販路の拡大、新規顧客の獲得につながったと回答した割合						
		数値目標	70%	実績数値	94.1%	目標達成度	134.4%		
	成果の代表事例	新規創業の事業所が事業に参加したことにより自社のPRをすることができ、新たな顧客につなげることができた。参加店舗同士で情報交換が行われ、事業所関でのネットワークづくりにもつなげることができた。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5類に移行したため、感染拡大の影響は令和4年度より少なく、比較的安心して事業を実施することができた。昨年よりは新たに創業した事業者の参加が増えて自社のPRや新規顧客の開拓につなげることができ、事業実施に関して一定の成果があった。次年度は参加事業者を増加させることができるよう事業内容を再検討し、目標数値を達成していきたい。							

富田林商工会

事業名		雇用管理労務対策セミナー							
想定する実施期間		H29 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	近年、長時間労働など様々な労働に関する諸問題が取り沙汰されており、雇用主、被雇用者及び求職者などから労働環境についての関心が高まっている。それに伴い、管内の事業者では大規模事業者と比べ労働環境の整備が不十分であることから、求職者からの関心が離れる傾向にあり人手不足に陥っている。そのため、労働環境を整備し従業員の定着と人材不足を解消するため、専門家による雇用管理セミナーを開催し企業の課題解決につなげることを目的とする。また、新型コロナウイルス感染症への対策として、雇用維持のための調整助成金等の活用や多様で柔軟な働き方の導入も目的とする。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	管内の従業員を雇用する企業（全業種） 小規模事業者並びに中小企業の人事・労務担当者							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	①開催日時：令和5年7月20日（木）午後1時30分～午後4時 開催場所：富田林市市民会館 1階 大会議室 開催内容：労務実務担当者講習会 参加企業数：25社 <事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	大阪府と連携を図りながら事業を企画、運営、実施したことで、円滑な開催につながった。						
		③市町村連携	各市町村と連携し効果的なPRを行うとともに各行政の施策等を促進することができた。						
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	30.0	総支援企業数(実績)	25.0	支援実績率	83.3%	満足率	96.0%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	計画していた支援企業数を下回ってしまったが、参加企業からのセミナー内容の満足度は高く、成果はあったと考える。労働関係法の変更点や改正点（時間外労働の上限規制、適用猶予後の新ルール等）などの知識の向上、また、基本的な部分の理解力の向上など、事業所内での労務管理へのスキルアップにつなげることができたと考える。							
		代表指標	雇用管理について理解を深めることができた企業割合						
		数値目標	70%	実績数値	96.0%	目標達成度	137.1%		
	成果の代表事例	セミナーを受講したことで、労務管理に対する知識が向上した。今までできていなかった部分などの再確認にもつながり、社内の環境整備につなげることができた。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	計画していた支援企業数より少ない実績となってしまったが、セミナー自体の満足度は高く、今後も引き続き実施していきたいと考える。また、より内容の良いセミナーにするためにも監督署やハローワークとの連携をさらに深めていきたい。							

富田林商工会

事業名 BCP普及啓発事業

想定する実施期間 R3 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること

事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	平成30年度に大阪府北部を震源とする地震、平成30年7月豪雨、台風19～21号など小規模事業者には甚大は影響を及ぼす大規模災害が相次いだ。近年は、大規模な直下型地震や南海トラフ地震など大規模地震の発生も想定される中で、個々の小規模事業者の経営だけでなく、サプライチェーンにも大きな影響を与えるおそれがある。大企業では、事前対策の取組が進んでいる一方で、小規模事業者における災害への備えの取組は一部にとどまっており、経営資源が脆弱な小規模事業者は、ひとたび被災すると経営に大きな影響を受ける可能性が高いと考えられる。このような中で、当会として「事業継続力強化支援計画」を令和2年12月に申請し、令和3年4月より実施しており、関係市町村と連携し、自然災害等に備える小規模事業者の取組を支援し、体制、取組を強化することで、持続的発展につなげる。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	管内小規模事業者を対象とする。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	事業継続、計画策定セミナーを開催。 開催日時：令和5年11月28日（火）午後3時から 開催場所：富田林商工会館 会議室 開催内容：事業継続の基礎知識、超簡易版BCPシートの策定 参加企業数：14社 <事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	大阪府と連携することで、BCP計画の必要性を円滑に説明することができたとともに、簡易シートの作成についてもスムーズに実施することができた。						
		③市町村連携	市町村と連携し効果的なPRを行うとともに各行政の施策等を促進することができた。						
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	22.0	総支援企業数(実績)	16.0	支援実績率	72.7%	満足率	100.0%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	計画より実績が下回ったが予定通り開催することができた。 第1部の「事業継続の基礎知識」について講師と打合せし、昨年よりも地域の環境に沿った内容にしたことで満足度は上昇した。南河内地域の災害想定なども解説していただいたため、参加事業所にはBCP策定の意識を高め、被災した際の事業継続・早期復旧に繋げることができた。							
		代表指標	簡易版BCP作成シート作成企業数						
		数値目標	22社	実績数値	16社	目標達成度	72.7%		
	成果の代表事例	セミナーを受講し、簡易版のBCP作成シートを作ったことで、自社での取り組みの必要性を再認識し、専門的な相談につなげることにより、BCP計画の策定に進めることができた。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				

実施結果	課題及び次期以降への取組み（実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか）	セミナー参加者の満足度は上昇したが計画に対して実績が下回っており、集客方法に課題があると考えている。 既存のメルマガや郵送での募集以外に日頃の経営指導からBCPの策定状況について確認し、未策定の方にはBCPの重要性を直接説明しセミナー参加を促す。
------	--	--

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	20.0	支援企業数(実績)	14.0	支援実績率	70.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	セミナーを受講することで、大規模災害に対応できる知識と対応力の向上、簡易版BCPの作成につながった。							
		指標	簡易版BCP作成シート作成企業数						
	数値目標	20	実績数値	14	目標達成度	70.0%			
その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度				
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	2.0	支援企業数(実績)	2.0	支援実績率	100.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	セミナーを受講することで、大規模災害に対応できる知識と対応力の向上、簡易版BCPの作成を実施したことにより、具体的なBCP策定につなげる。							
		指標	具体的なBCP策定につながった企業数						
	数値目標	2	実績数値	2	目標達成度	100.0%			
その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度				

富田林商工会

事業名		カーボンニュートラル、脱炭素推進事業							
想定する実施期間		R5 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	気候変動の原因となっている温室効果ガスは、経済活動・日常活動に伴い排出されており、ライフスタイルに起因する温室効果ガスが我が国全体の排出量の約6割を占めるという分析もある。これからのカーボンニュートラル、脱炭素に向けて、企業として取組み、推進することにより自社の付加価値を高め、新たな取引先の獲得やビジネスチャンスにつなげることを目的とする。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	管内小規模事業者を対象とする。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	脱炭素経営セミナー 開催日時：令和5年11月21日（火）午後2時～午後4時 開催場所：富田林商工会館 2階 会議室 開催内容：①2050年カーボンニュートラルに向けた最新動向 ②大阪府の中小企業向け脱炭素政策 ③CO2の見える化の重要性、CO2見える化ツールのご紹介 参加企業数：19社 <事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	大阪府と連携し、本事業を企画・運営することができた。						
		②広域連携							
③市町村連携		市町村と連携し効果的なPRを行うとともに各行政の施策等を促進することができた。							
④相談相乗									
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	20.0	総支援企業数(実績)	19.0	支援実績率	95.0%	満足率	94.7%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	最新のカーボンニュートラル、脱炭素化についての現状、今後の動向等の情報提供、また、中小企業が活用できる国の支援策、大阪府の省エネ・省CO2関連施策補助金についての説明や申請書類の書き方のポイントについての説明、相談を実施したことによって、知識不足や社内研修等を検討している事業所に対して、カーボンニュートラル、脱炭素化の仕組み、当該補助金についての知識の向上につながった。							
		代表指標	脱炭素に関する知識が向上し、今後、事業活動の中で推進していこうと考えている企業割合						
		数値目標	70%	実績数値	95.0%	目標達成度	135.7%		
	成果の代表事例	本セミナーを受講した情報を活かし、社内研修を開催し社員の知識向上を目指す事業所が見受けられた。							
その他目標値の実績	目標値(計画)	1	目標値(実績)	1	目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	参加事業者が特定の業種に偏ってしまったため、今後はより多様な業種の事業者を対象にした。また、受講者の予備知識にばらつきがあることと、複数の講師によるセミナーであったためスムーズな進行ができなかった。次期以降のセミナー内容は十分に精査する必要がある。							

富田林商工会

事業名		新規採用者の職場定着支援事業							
想定する実施期間		R5 年度～ R5 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	新型コロナウイルスの感染拡大が小規模事業者にも大きな影響を及ぼしている。とりわけ、雇用情勢は大きく悪化しており、完全実業者数や休業者数は前年に比べ大幅に増加、就業者数や労働力人口は大幅に減少と見通しが立たなくなる一方で、特定の業種によっては、深刻な人材不足が見受けられる。今後を継続、活性化させるためにも人材確保が急務であり、地域雇用の人材不足の解消、非正規から正規雇用への転換など事業者の雇用意欲を高め、労働力不足を解消することを目的とする。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	管内小規模事業者を対象とする。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<大阪府資格取得等人材育成支援補助金> 新規採用者の職場定着に向けての補助金活用セミナー 開催日時：令和5年10月17日（火）午後3時～午後4時30分 開催場所：富田林商工会館 2階 会議室 開催内容：①最近の雇用情勢について②大阪府資格取得等人材育成補助金の概要や手続きなど ③補助金に関する相談 参加企業数：10社 <事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	大阪府と連携を図りながら事業を企画、運営、実施することができた。						
		②広域連携							
	③市町村連携								
	④相談相乗								
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	15.0	総支援企業数(実績)	10.0	支援実績率	66.7%	満足率	90.0%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	最近の全国的な雇用情勢について情報提供していただき、大阪府資格取得等人材育成支援補助金についての説明や手続き、相談を実施したことによって、従業員の高齢化や若手人材の確保が厳しいと感じている事業所に対して、当該補助金についての知識の向上ができた。さらに今後の自社の採用の取り組みや職場定着に制度を活用することが可能となり、職場体験付き求人「にであう」への申請や新規採用者の職場定着の促進につなげることができた。							
		代表指標	セミナーを受講することにより人材確保に関する知識が向上した事業所割合						
		数値目標	70%	実績数値	100.0%	目標達成度	142.9%		
	成果の代表事例	セミナーを受講することにより、今後社内研修への活用を予定の事業所や職場体験付き求人「にであう」への申請を予定する事業所が見られた。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	今年度は新型コロナウイルス感染症も5類へ移行し、事業の開催も問題ないと思われたが、実施してみると当日の体調不良による欠席等で支援実績が目標を下回り、目標が達成できない結果となった。各事業所の人材不足についても、外国人やパート・アルバイトで補う事業所もあり、次年度は中止し、外国人人材や非正規雇用に関する支援について良い方法を模索していきたい。							

富田林商工会

事業名		ITツール活用支援事業								
想定する実施期間		H23 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること								
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	○事業を多角的に展開する上でITツールの活用は必要不可欠である。そこで、今話題性のあるソーシャルネットワークサービス等の講習会を実施することにより、企業内でのIT化の促進、ITスキルの向上や販路拡大、ITを導入することによる業務の効率化等が図れるように支援することを目的とする。								
	支援する対象 (業種・事業所数等)	○南河内地域の中小企業、小規模事業者を対象とする。								
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	Aコース 開催日時：8月4日、8月18日、8月25日 午後2時～午後4時 開催場所：富田林商工会 開催内容：AI時代のビジネスツールチャットGPTの活用法 参加企業数：24社								
		Bコース 開催日時：9月7日、9月14日、9月21日 午後2時～午後4時 開催場所：大阪狭山市商工会 開催内容：SNS×AIマジック「AIを活用したTwitter・Instagram運用法」特別セミナー 参加企業数：23社								
		Cコース 開催日時：9月27日、10月4日、10月11日 午後2時～午後4時 開催場所：河内長野市商工会 開催内容：AIテクノロジーを駆使するー商工会特別セミナー：【AIツール実践ワークショップ】 参加企業数：22社								
		Dコース 開催日時：10月19日、10月26日、11月2日 午後2時～午後4時 開催場所：富田林市民会館 開催内容：オンラインで商売&ネット集客セミナー 参加企業数：39社								
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>								
		①府施策連携								
		②広域連携	各商工会で事業PR、参加事業所募集を実施した結果、非常に多くの参加につながった。また、地域外の事業所とのつながりができ、新たな販路の開拓につなげることができた。							
		③市町村連携								
	④相談相乗	カルテ化事業者の地域活性化事業への参加促進や地域活性化事業参加事業者をカルテ化することによる効率的な支援を行った。								
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	105.0	総支援企業数(実績)	108.0	支援実績率	102.9%	満足率	94.4%	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	①「AI時代のビジネスツールチャットGPTの活用法」について、販売促進活動を推進する上で大事なツールであり、簡単にかつ効果的なツールでもあるので非常に取り組みやすく、満足度も高かった。								
		②「SNS×AIマジック「AIを活用したTwitter・Instagram運用法」特別セミナー」について、情報発信力の強化にはSNSツールが必要不可欠であり、マーケティング戦略でも必須のツールなので事業者の関心も高く、満足度も高かった。SNSの活用が非常に大事であり、活用することで販売を促進することができ、売上増加につながった。								
		③「AIテクノロジーを駆使するー商工会特別セミナー：【AIツール実践ワークショップ】」について、AIを活用することでSNSツールを効果的に活かした情報発信ができることで即効性が高く、販路拡大につなげることができた。								
		代表指標	ITツール活用知識の向上や販路拡大することによる売上増加企業割合							
		数値目標	70%	実績数値	94.4%	目標達成度	134.9%			
成果の代表事例	セミナーを受講したことで、今まで活用していた形とは違った活用方法を知ることができ、効果的なツールとして使えることができたことで、販売促進につなげることができた。									
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度					

実施結果	課題及び次期以降への取組み（実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか）	SNSなどの販促ツールの活用方法などは日々変化しており、それに対応できるようなセミナーの開催内容が望まれる。事業者のニーズをより把握し、情報発信力の強化につなげたい。
------	--	---

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	22.0	支援企業数(実績)	24.0	支援実績率	109.1%	満足率	91.7%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	セミナーを受講したことにより、ITツールをより活用する機会が増え、売上の増加、新規顧客の獲得につながった。							
		指標	ITツール活用知識の向上や販路拡大することによる売上増加企業割合						
		数値目標	70%	実績数値	91.7%	目標達成度	131.0%		
その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）				目標達成度	
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	22.0	支援企業数(実績)	23.0	支援実績率	104.5%	満足率	95.7%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	セミナーを受講したことにより、ITツールをより活用する機会が増え、売上の増加、新規顧客の獲得につながった。							
		指標	ITツール活用知識の向上や販路拡大することによる売上増加企業割合						
		数値目標	70%	実績数値	95.7%	目標達成度	136.7%		
その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）				目標達成度	
実績／達成度③	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	22.0	支援企業数(実績)	22.0	支援実績率	100.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	セミナーを受講したことにより、ITツールをより活用する機会が増え、売上の増加、新規顧客の獲得につながった。							
		指標	ITツール活用知識の向上や販路拡大することによる売上増加企業割合						
		数値目標	70%	実績数値	100.0%	目標達成度	142.9%		
その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）				目標達成度	
実績／達成度④	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	39.0	支援企業数(実績)	39.0	支援実績率	100.0%	満足率	92.3%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	セミナーを受講したことにより、ITツールをより活用する機会が増え、売上の増加、新規顧客の獲得につながった。							
		指標	ITツール活用知識の向上や販路拡大することによる売上増加企業割合						
		数値目標	70%	実績数値	92.3%	目標達成度	131.9%		
その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）				目標達成度	

富田林商工会

事業名		製品・商品・サービス魅力強化発信事業																																		
想定する実施期間		H26 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること																																		
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	商工会管内の事業所の製品、商品、サービスは個性的で、魅力的なものが多数存在しているが、製品、商品、サービスの本来持つ力、魅力等を伝えきれていないのが大部分である。見せ方ひとつで受取る側に与えるイメージやそのものの価値などが変わり、製品・商品・サービスに大きな付加価値を加えることができるとことを知り、効果的なデザインの活用について学んでもらい、新たな販路の拡大、自社販売力の向上を目指す。そのことにより今後の開発意欲を高め、社内の意識改革、改善につなげる。																																		
	支援する対象 (業種・事業所数等)	管内及び河内長野市、大阪狭山市の中小企業、小規模事業者を対象とする。																																		
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>○セミナー 開催日時：令和5年12月4日（月）PM2：00～PM4：30 開催場所：富田林商工会館 会議室 開催内容：第1部セミナー「デザイン力向上セミナー」第2部「ワークショップ」第3部「大阪府施策の説明」 参加企業数19社20名</p> <p><事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載></p> <table border="1"> <tr> <td>①府施策連携</td> <td colspan="6">大阪府と連携を図りながら事業を企画、運営、実施したことで、円滑な開催につながった。</td> </tr> <tr> <td>②広域連携</td> <td colspan="6">各商工会で事業PR、参加事業所募集を実施した結果、非常に多くの参加につながった。また、地域外の事業所とのつながりができ、新たな販路の開拓につなげることができた。</td> </tr> <tr> <td>③市町村連携</td> <td colspan="6"></td> </tr> <tr> <td>④相談相乗</td> <td colspan="6">カルテ化事業者の地域活性化事業への参加促進や地域活性化事業参加事業者をカルテ化することによる効率的な支援を行った。</td> </tr> </table>							①府施策連携	大阪府と連携を図りながら事業を企画、運営、実施したことで、円滑な開催につながった。						②広域連携	各商工会で事業PR、参加事業所募集を実施した結果、非常に多くの参加につながった。また、地域外の事業所とのつながりができ、新たな販路の開拓につなげることができた。						③市町村連携							④相談相乗	カルテ化事業者の地域活性化事業への参加促進や地域活性化事業参加事業者をカルテ化することによる効率的な支援を行った。					
	①府施策連携	大阪府と連携を図りながら事業を企画、運営、実施したことで、円滑な開催につながった。																																		
	②広域連携	各商工会で事業PR、参加事業所募集を実施した結果、非常に多くの参加につながった。また、地域外の事業所とのつながりができ、新たな販路の開拓につなげることができた。																																		
③市町村連携																																				
④相談相乗	カルテ化事業者の地域活性化事業への参加促進や地域活性化事業参加事業者をカルテ化することによる効率的な支援を行った。																																			
計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	25.0	総支援企業数(実績)	19.5	支援実績率	78.0%	満足率	100.0%																												
事業全体の実績／目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>計画より実績が下回ったが予定通り開催することができた。 当初想定していた自社・OEM商品を製造販売している事業者以外にも参加いただいたが、管内の幅広い業種に対応してのものであったため満足度が非常に高かった。 セミナー終了後の個別相談も4件あったため引き続き大阪産業局と連携し専門的な支援ができる体制を整えたい</p> <table border="1"> <tr> <td>代表指標</td> <td colspan="6">自社での取り組みを推進していこうと考えている企業割合</td> </tr> <tr> <td>数値目標</td> <td>80%</td> <td>実績数値</td> <td>100.0%</td> <td>目標達成度</td> <td colspan="2">125.0%</td> </tr> </table>							代表指標	自社での取り組みを推進していこうと考えている企業割合						数値目標	80%	実績数値	100.0%	目標達成度	125.0%															
	代表指標	自社での取り組みを推進していこうと考えている企業割合																																		
	数値目標	80%	実績数値	100.0%	目標達成度	125.0%																														
	成果の代表事例	<ul style="list-style-type: none"> ・セミナーを参考に自社商品のパッケージを見直し、既存顧客よりも若い年齢層への販路開拓に取り組んでいる。 ・求人広告や自社HPのデザインを変更し若い人材へのイメージを変えるべくデザインなどの変更に取り組んでいる。 																																		
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度																															
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	<p>セミナー参加者には好評であったが計画に対して実績が下回っており、集客方法に課題があると考えている。当日キャンセルが多く、開催日の調整が必要である。 また、来年度に関しては、参加事業者のセミナー受講後のフォローアップも視野に入れ、セミナーの資料面からも見直しを図る。</p>																																		

富田林商工会

事業名		創業促進事業							
想定する実施期間		H29 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	富田林商工会管内事業数は、販売力の低下、得意先の減少、景気の悪化、後継者不足など多種多様の事情により、減少傾向にあるのが現状である。このような状況の中で、地域内の事業所数を増加させ、地域雇用の増加を図るなど地域活性が急務である。ついては、これから創業を考えている方に必要な情報を提供する機会を設けるとともに、創業しやすい環境を整え企業家育成を促進することを目的とする。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	主に富田林市、太子町、河南町、千早赤阪村、羽曳野市を中心とした南河内エリアで、創業を希望、検討している方や創業後5年以内の方							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	令和5年度実施状況							
		①第1回創業セミナー 開催日：令和5年4月28日・5月12日・5月19日・5月26日 開催時間：14時から16時 開催場所：LIC羽曳野 会議室 参加者：22名							
		②第2回創業セミナー 開催日：令和5年6月27日・7月4日・7月18日・7月25日 開催時間：14時から16時 開催場所：富田林商工会館 会議室 参加者：26名							
		③第3回創業セミナー 開催日：令和5年9月28日・10月5日・10月19日・10月26日 開催時間：14時から16時 開催場所：LIC羽曳野 会議室 参加者：24名							
		④第4回創業セミナー 開催日：令和5年11月17日・12月2日・12月8日・12月15日 開催時間：14時から16時 開催場所：富田林商工会館 会議室 参加者：10名							
⑤創業者、創業予定者交流会 開催日：令和5年12月15日 開催時間：16時から17時 開催場所：富田林商工会館 会議室 参加者：5名									
⑥創業希望者に対するトータル的な支援を行う。(ハンズオン支援)セミナー参加者82名のうち19名が創業し16名が創業準備または創業に向けた個別支援を実施するなど創業に係るトータル的な支援を実施。									
<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>									
①府施策連携		大阪府と連携し、創業を促進できる施策等を紹介、創業意欲の向上につなげた。							
②広域連携		広域連携することで、参加者の増加、創業に向けて近隣地域でのネットワークが構築できた。							
③市町村連携		管内市町村において、事業に関しての広報等を依頼。広くPRすることで、事業効果を高めることができた。							
④相談相乗		カルテ化事業者の地域活性化事業への参加促進や地域活性化事業参加事業者をカルテ化することによる効率的な支援を行った。							
事業全体の実績/目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	96.0	総支援企業数(実績)	93.0	支援実績率	96.9%	満足率	97.8%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	1, 2, 3回目は、計画企業数を上回る参加があり、創業に対する関心の高さが伺えた。さらに、大阪府よろず支援拠点と連携することで、より専門的な事業内容で開催することができたことにより、参加者の満足率も高かった。セミナー後も融資、補助金などでの伴走支援等を実施することで創業の促進につなげることができた。							
		代表指標	創業意識が向上した割合(アンケート)						
		数値目標	70%	実績数値	92.5%	目標達成度	132.1%		
	成果の代表事例	セミナーを受講したことで、創業意欲の向上につながり、具体的な創業計画書を作成し、創業することができた。							
その他目標値の実績	目標値(計画)				目標値(実績)				目標達成度

実施結果	課題及び次期以降への取組み（実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか）	計画支援数を下回ったものの、全体的には参加者も多く一定の成果はあったと考える。セミナー内容の再考が必要であることと、開催日などについても検討していきたい。次年度も大阪府よろず支援拠点と連携しながら開催していきたいと考えている。また、行政の施策とも連携し、より創業促進につなげていきたい。
------	--	---

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	20.0	支援企業数(実績)	22.0	支援実績率	110.0%	満足率	95.5%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	セミナーを受講したことにより、創業に対する意識の向上、意欲の向上など創業に取り組む姿勢が伺えた。							
		指標	創業意識が向上した割合（アンケート）						
	数値目標	70%	実績数値	95%	目標達成度	136.4%			
その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度				
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	20.0	支援企業数(実績)	26.0	支援実績率	130.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	セミナーを受講したことにより、創業に対する意識の向上、意欲の向上など創業に取り組む姿勢が伺えた。							
		指標	創業意識が向上した割合（アンケート）						
	数値目標	70%	実績数値	100%	目標達成度	142.9%			
その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度				
実績／達成度③	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	20.0	支援企業数(実績)	24.0	支援実績率	120.0%	満足率	95.8%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	セミナーを受講したことにより、創業に対する意識の向上、意欲の向上など創業に取り組む姿勢が伺えた。							
		指標	創業意識が向上した割合（アンケート）						
	数値目標	70%	実績数値	75%	目標達成度	107.1%			
その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度				
実績／達成度④	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	20.0	支援企業数(実績)	10.0	支援実績率	50.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	セミナーを受講したことにより、創業に対する意識の向上、意欲の向上など創業に取り組む姿勢が伺えた。							
		指標	創業意識が向上した割合（アンケート）						
	数値目標	70%	実績数値	100%	目標達成度	142.9%			
その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度				
実績／達成度⑤	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	10.0	支援企業数(実績)	5.0	支援実績率	50.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	事業に参加したことにより地域を超えた創業者同士の連携ができ、より創業の促進につながった。							
		指標	創業意識が向上した割合（アンケート）						
	数値目標	80%	実績数値	100%	目標達成度	125.0%			
その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度				
実績／達成度⑥	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	6.0	支援企業数(実績)	6.0	支援実績率	100.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	事業に参加したことにより地域を超えた創業者同士の連携ができ、より創業の促進につながった。							
		指標	具体的に創業に向けた取組ができた割合						
	数値目標	80%	実績数値	100%	目標達成度	125.0%			
その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度				